

とっとり産業フェスティバル2010 ポスター発表申込書・要旨原稿

テーマ	緊急地震速報を取り入れた避難訓練用学習教材の開発に関する研究		
発表者	○ 鳥取短期大学生生活学科准教授 浅井秀子 米子工業高等専門学校建築学科教授 熊谷昌彦		
概要	本研究は、鳥取県内の小学校における防災教育の普及・啓発を図るために、児童に対する事前の避難訓練用学習教材を作成するための企画書づくりを行うことを目的としている。小学校において、通常の避難訓練に加えて、事前の避難訓練用学習教材を加えた避難訓練を行うことで、児童にとって地震のメカニズムや身近な場所での地震発生時の危険性や対処方法について、理解しやすくなると思われる。そして教員指導経験の長さや教員の被災体験の有無を問わず、一定基準の防災に関する基礎知識を指導することができるため、特に若年教育者にとっての効果は期待できると考える。		

【研究目的】	本研究は、各都道府県の「防災教育」の現状を把握するための先進地視察を通して、防災教育への取り組みが先進的な地域の視察を行い、鳥取県内の小学校における防災教育の普及・啓発を図るために、児童に対する事前の避難訓練用学習教材を作成するための企画書づくりを行うことを目的としている。		
【研究方法】	研究は、鳥取県内の小学校における防災教育の普及・啓発を図るために、(1)防災教育への取り組みが先進的な地域の視察、(2)鳥取県内の小学校で利用するための避難訓練用学習教材を作成するための企画書、(3)鳥取県内の小学校での防災教育授業の実施、に分けて調査を行う。		
【調査結果】	<p>(1) 防災教育への取り組みが先進的な地域の視察：先進的な地域の小学校の視察と教育委員会の取り組みへのインタビュー調査を行うことで、鳥取県においても取り入れていくべき内容の示唆を受けた。具体的な項目は、①先進地の都道府県及び市町の防災教育の取組み、②防災教育授業の視察である。自治体によっては、ビデオ教材や報告書等、啓蒙普及のための教材の作成を行っていた。</p> <p>(2) 鳥取県内の小学校での防災教育授業の実施</p> <p>《倉吉市立成徳小学校》：防災マップ作りを通して、災害や防災についての基本的な事項に気づくことができた。そして地域の方と一緒に作ったことで、地域を知る機会や愛着が得られただけでなく、世代を超えたつながりを作るきっかけとなった。</p> <p>《日野町立黒坂小学校》：備蓄食体験と防災紙芝居を加えた避難訓練は、視覚的にも理解しやすい体験型の訓練であったため、低学年にも理解しやすかった。</p> <p>《防災カルタコンクール》：応募作品は、学校での学びを活かしたものや地域性あふれるもの、子供ならではの発見や提案など、個性豊かな作品が多くみられた。入選作品や全応募作品の掲載は、次年度以降の啓発活動につながった。</p> <p>(3) 防災教育の取り組み課題：①避難訓練が中心のため、理科、技術・家庭科等の教科と総合的な学習の時間の連携や教育活動全体を通じての体系的な取り組み、②児童の発達段階や風水害・津波等の地域特性に応じた指導、③学校や保護者、地域、行政等の連携と、それらをコーディネートすること等が必要である。</p>		
【来場者へのメッセージ】	静岡県・神戸市・高知県が行っている「防災教育」の現状を把握すると共に、防災教育の先進地である自治体の教材を取り入れて実践授業を行うことを通じて、鳥取県独自の「防災教育」の提案を行う上での基礎となると考えている。		
連絡先:	鳥取短期大学生生活学科 准教授 浅井秀子 鳥取県倉吉市福庭854 TEL. 0858-26-1811 E-mail:asai@ns.cygnus.ac.jp		
分野		プレゼンタイム	有 ○無